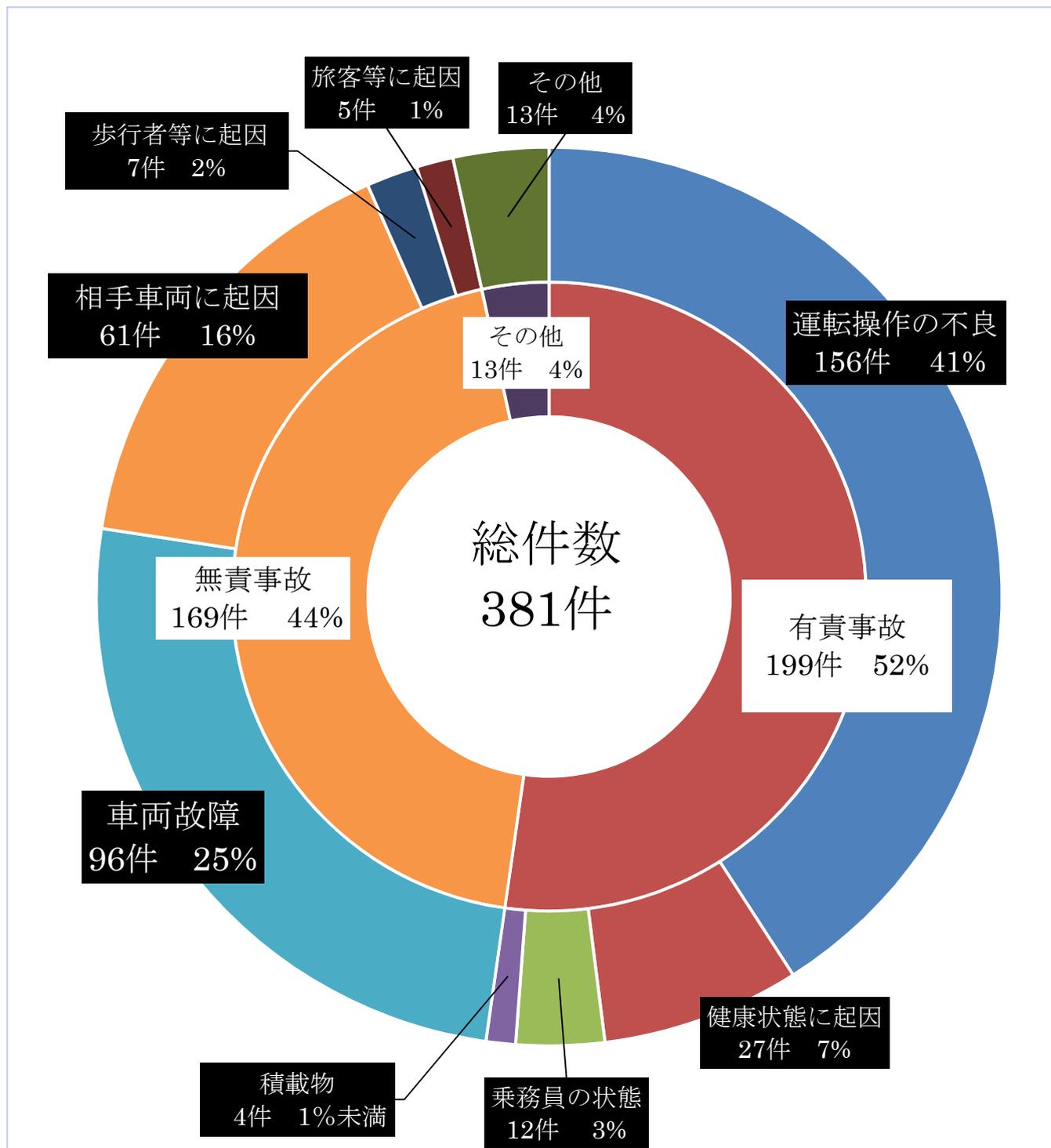


(キ) 事故原因別発生状況

事故の原因を事業用自動車の運転者に起因する事故(以下「有責事故」という)と相手側に起因する事故等(以下「無責事故」という)に分けると、[図 13]のとおり有責事故が199件(52%)、無責事故が169件(44%)で、有責事故の方が若干高い割合を占めている。また、有責事故199件中156件は、運転者の運転操作不良によるものとなっている。

[図 13] 原因別重大事故発生状況



更に、有責事故について、その内容を業態別、事故原因上位3項目をみると〔表 6〕のとおり。業態別にみるとバスは「運転者の健康状態」、ハイタクは「左折、右折不適切」、トラックは「脇見運転」による事故が多くなっている。

〔表 6〕有責事故の状況(第1原因)

業 態	順 位	事 故 原 因	件 数	比 率
バ ス	1	運転者の健康状態	13	28.2%
	2	発車時の安全確認の不良又は不履行	12	26.1%
	3	左折、右折不適切	7	15.2%
ハ イ タ ク	1	左折、右折不適切	8	16.7%
	2	歩行者に対する不注意	8	16.7%
	3	漫然運転	6	12.5%
ト ラ ッ ク	1	脇見運転	15	14.3%
	2	左折、右折不適切	14	13.3%
	3	最高速度制限の不履行	12	11.4%

※第一原因のみ集計したもの。